

2019年3月12日

ペルーにおける鉄道開発事業向けプロジェクトファイナンスへの参加について ～当社として初めての海外プロジェクトボンド形態での投資～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣 精二、以下「当社」)は、2013年度より国内外のプロジェクトファイナンス等に積極的に取り組んできましたが、今般、当社初となる海外プロジェクトボンド形態での投資として、ペルーにおける鉄道開発プロジェクトへ投資を行いましたので、お知らせいたします。

【本件のポイント】

- ✓ ペルーにおける鉄道開発事業向けプロジェクトファイナンスに投資を実施
- ✓ 当社として初めての海外プロジェクトボンド形態での投資
- ✓ 新興国の鉄道インフラ整備によるQOL向上への貢献



本プロジェクトはペルーのリマ市を東西に横断する全長33.13km、計26駅の高架鉄道において、新車両を追加し運行数を倍増させるとともに、それに伴う駅舎・車庫拡大等のインフラ整備を行うものです。今後も利用者増加が見込まれているペルーの鉄道において、混雑緩和、利便性向上が期待されており、当社としても本プロジェクトへの資金供給を通じ、QOL向上への貢献を目指しています。

(提供:ペルー交通省)



なお、本案件は速やかな意思決定が必要な海外プロジェクトボンド形態での投資であり、当社は、これまで培ってきたプロジェクトファイナンスに関する投資ノウハウを活かし、投資執行所管と審査所管が緊密に連携してリスクを精査することで投資を実施しました。当社は2019年4月にファイナンス投融資部を新設し、更なる専門性・機動性の強化を通じて、プロジェクトファイナンス分野への投資拡大を目指していきます。

当社は、引き続き投資分野、運用手法の高度化・多様化によって資産運用収益の向上を図るとともに、責任ある機関投資家として持続可能な社会の形成に寄与すべく、ESG投資にも積極的に取り組んでいきます。

【本件プロジェクト概要】

プロジェクト名	Line 1 Lima Metro Expansion Project
プロジェクト内容	ペルー リマ市の高架鉄道(Line 1)における、新車両の追加およびインフラ整備事業
事業主	Government of Peru acting through the Ministry of Transportation
アレンジャー	米国みずほ証券